

総合土木

石川県の輝く未来を支えるみちづくりを進めています



職・氏名：主任技師 清水 和博
現所属：道路建設課
入庁年：平成 20 年度

職場① 安原・高橋川工事事務所

(平成 20 年 4 月～平成 23 年 3 月)

浸水被害を防ぐことを目的に、川幅を広げる河川改修事業の設計や工事発注、施工管理等の業務を担います。

現場が市街地であったため、近隣住民の方々と工事の進め方などについて、十分に話し合いながら、事業を進めました。

工事が終わったときには、住民の方から「これで安心して寝ることができる」と感謝の言葉をいただき、やりがいを感じられたことが今でも忘れられません。

TOPIC 知識向上のための研修も豊富

県庁に入庁してからも、技術力の向上や政策の企画・立案、課題に柔軟に対応できる土木部職員の育成を目的に、さまざまな研修が用意されています。

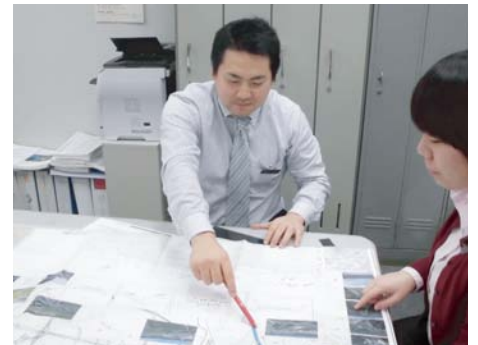
基礎を学ぶ研修をはじめ、中には、短期の海外派遣研修や民間企業で最新技術を学ぶ研修もあります。

職場② 道路建設課高規格道路グループ

(平成 26 年 4 月～)

海側幹線などの幹線道路ネットワークの効果的・効率的な整備等を企画・立案する業務を担います。

現在は、幹線道路に関する事業計画や事業箇所の進捗管理、予算配分等を担当しています。生活に欠かせない道路整備に携わっていることに誇りを持ち、安全で快適なみちづくりを目指し、日々勉強しながら業務に取り組んでいます。



総合土木

県民の方々の暮らしを守る砂防事業に取り組んでいます



職・氏名：主任技師 齊藤 亜矢子
現所属：砂防課
入庁年：平成 18 年度

TOPIC 毎年盛り上がる球技大会

県庁では、土木部のみならず全部局の職員が参加できる球技大会が毎年行われています。男女問わず楽しめるようなソフトボール、卓球、バドミントン、ソフトバレーなどがあり、能登から加賀までの出先機関も含めた職員が参加します。

球技大会での優勝を目的に、仕事後に練習を重ねる職場もあり、職員の健康増進につながるとともに職場の団結力も高まるため、毎年とても盛り上がっています。

職場① 奥能登土木総合事務所道路建設課

(平成 23 年 4 月～平成 25 年 3 月)

都市計画道路の新設・改良事業の工事発注や施工管理等の業務を担います。

照明灯や歩道のデザイン、沿道の街並みのルールなどを住民の方々と一緒に考え、地元協議会で意見を取りまとめるなど、地域の皆さんと共に取り組んだことは貴重な経験となりました。また、完成した道路が多くの人に利用されることの達成感は非常に大きなものでした。

職場② 砂防課砂防・地すべり整備グループ

(平成 27 年 4 月～)

土砂災害による被害を防ぐため、県下全域の砂防事業に関する業務全般を担います。

砂防課では、県民の方々を土砂災害による被害から守るために様々な対策を行っていますが、私は県内の砂防事業の進捗管理や予算配分、今後の事業展開の検討等を行っています。県民の安全・安心を実現するための手段を考え、実施することが出来るやりがいのある仕事です。



建築

安全・安心のため
住まいの耐震化を
推進します



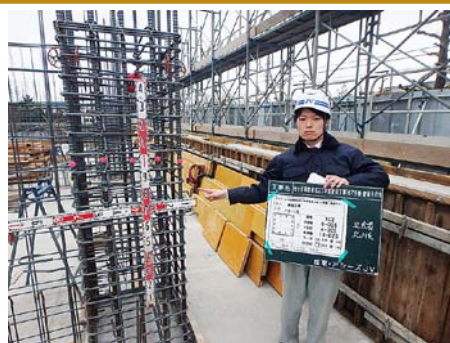
職・氏名：技師 北川 亮
現所属：建築住宅課
入庁年：平成 23 年度

職場① 営繕課建築グループ

(平成 25 年 4 月～平成 28 年 3 月)

県が管理する建築物の設計や工事発注・監督等の業務を担います。

県営住宅の新築工事では RC 造 4F 建ての建築物の工事管理を担当しました。建築物が発注した設計図書通りに出来ているかを現場で管理することができ、緊張感を持ちながらもやりがいのある充実した日々でした。



TOPIC 休日は趣味や勉強の時間に

原則として、土日祝日は休日となっているため、趣味や資格取得のための勉強の時間として使うことが可能です。

家族や友人と旅行へ出掛けて日頃の疲れをリフレッシュしたり、資格取得のために勉強してスキルアップを目指すことが可能です。

建築職の多くは、一級建築士の資格を有しています。仕事と勉強の両立は大変ですが、周囲の先輩職員のサポートもあるのでチャレンジしやすい環境です。是非皆さんも一級建築士の資格を目指してみてください。

職場② 建築住宅課住まいづくりグループ

(平成 28 年 4 月～)

住宅の質的向上を目的に、耐震化や省エネ化等の業務を担います。

昭和 56 年以前に建てられた住宅には耐震性がないことが多く、県民の方々に耐震性のある住宅に住んでもらうため、耐震診断や耐震改修に対する補助、耐震化のための普及啓発等を行っています。

自分の仕事が地震が起こった時の県民の方々の命を守ることに繋がっていることに誇りを感じています。

造園

観光資源である
金沢城公園・兼六園
も整備します



職・氏名：主任技師 安達 真里子
現所属：公園緑地課
入庁年：平成 18 年度

職場① 金沢城・兼六園管理事務所兼六園課、金沢城公園課

(平成 20 年 4 月～平成 25 年 3 月)

本県を代表する観光資源である兼六園と金沢城公園の整備や管理業務を担います。

造園職にとって、日本三名園の一つである兼六園の管理に携わることは、とても名誉なことで貴重な経験です。5 名いる専属の庭師の方々と一緒に樹木の状態を観察し、特別名木をはじめ、園内の樹木が健全であるように日々注意をこらしていました。

職場② 公園緑地課金沢城・兼六園周辺整備グループ、公園・緑化推進グループ

(平成 25 年 4 月～)

県営公園の整備にかかる予算管理（予算要求・配分等）の業務を担います。

公共事業の予算については、国土交通省と県総務部への要求・調整を行っています。現場に出ることは少ないですが、事業進捗に支障のないよう総合的に判断することが求められる重要な業務です。



TOPIC 結婚・出産・子育てと女性に働きやすい職場環境

造園職で入庁してから、11 年目となります。日々の仕事の中では、造園の知識を問われることだけでなく、土木技術の知識を求められることも多く、勉強することは多いです。

県庁は、結婚・出産・子育てと周囲の理解を得ながらの働き方も可能な職場環境です。土木部職員でありながらワーキングマザーとして、仕事と家庭を両立するために奮闘しています。